



紀南病院 研修医通信 vol.148 2025年2月号

鈴鹿中央総合病院 研修医2年目 鵜飼健

1ヶ月間と短い間ではありましたが、紀南病院での研修では様々な研修をすることができました。神島診療所研修では、地域の人との距離の近さなどが印象的でした。離島地区では、地域住民が自体が減少傾向であり、経営の問題から地域住民の方による善意の緊急時の移送も難しくなっていることなどの現状を学ぶ事ができました。紀南病院では、病棟だけでなく、初診外来や救急外来をさせていただき大変勉強になりました。

研修以外では、指導医の池田先生とカタン会をさせていただいたり、すき焼きパーティをしたりなど楽しく過ごすことができました。

指導医の池田先生を始めとする内科の先生方や暖かく接していただいたコメディカルの方々のおかげで実りのある研修ができました。この場を借りて御礼申し上げます。



東京大学医学部附属病院 研修医2年目 箕作和樹

この度は1ヶ月間の研修をさせていただきありがとうございました。紀南病院では1stタッチをしたことがない疾患の初療、そして管理をさせていただきました。また、エコー室で、心エコーの細かい計測方法を教えていただきました。さらに紀和診療所の外来では、鈴木先生が紀和町の歴史を知り尽くされていて、患者さんとの会話で地域話題を出し、良好な関係を築かれていたのがとても勉強になりました。訪問診療では、施設から一旦家に帰っている患者さんにお会いしました。ご家族が「家に帰っていると表情が違う」と話されていたのがとても印象的でした。

また、勤務後やお休みの日は、鵜飼先生に車でご飯屋さんに入れて行ってもらったり、松阪牛を食べたり、ボードゲームをしたりすることができました。綺麗な海を見て散歩する、ゆったりとした時間も過ごせました。

指導医の大部先生には内科の指導をしていただき、総務課の津呂橋様には沢山の調整をしていただきました。また、病院スタッフの方々には優しく接していただきとても充実した研修となりました。心より感謝いたします。

